

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

研鑽を積み めざせ歯科医師最高峰



歯科医師を目指して学び始め、矢ヶ崎 雅理事長の講義を受けた新1年生たち

松本歯科大学歯学部・大学院／衛生学院入学式

2023年度の松本歯科大学歯学部と大学院歯学独立研究科、衛生学院歯科衛生士学科合同の入学式が4月6日(木)、本館7階講堂で行われた。歯学部生(編入生含む)73人、大学院生9人、衛生学院生50人の全132人の新入生が、保護者や家族に見守られながら、それぞれの夢の実現に向けて本学で勉学に励む決意を新たにされた。

会場全体で校歌を静聴したあと、矢ヶ崎 雅理事長があいさつし、「皆さんの入学を心からうれしく思います。一日一日、一分一秒を大切に過ごし、コミュニケーションを深めてしっかり学び、歯科医師として、歯科衛生士として世界のトップを目指してほしい」と励ました。また、たくさんの本を読むことや健康に留意することを説き、新入生の未来に期待した。

川原一祐学長は「皆さんは歯科医学において責任ある仕事に就く立場になります。治療においては信頼関係がたいへん大事。皆さんが患者さんの信頼を得られる人材に育つことを切に願っています」とし、「希望を持って、これからの学生生活を、研究生生活を、全うされることを期待しています」と言葉かけた。

新入生の「誓いのことば」は、歯学部は駒崎可恋さん、大学院は郭子揚さん、衛生学院は山田真緒さんがそれぞれ述べた。このうち駒崎さんは、登壇した宇田川信之歯学部長に向かって「松本歯科大学生としての誇りを持ち、本学の建学の理念をわきまえ、歯科医師の理想を目指し、初心を忘れることなくさらなる向上心を持って勉学に励むことを誓います」と力強く決意を表明した。

本年度の入学式開催にあたり、新入生全員には4月3日(月)に新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施。また保護者や家族に対しては開式前に抗原検査を行い、出席者の陰性を確認した上で列席することを可能としたため、4年ぶりに参列者の多いにぎやかな式となった。

この日、キャンパス内は、平年より早く満開となったソメイヨシノをはじめめとする多くの花木が最大の見ごころを



歯学部新入生を代表して誓いの言葉を述べる駒崎さん

松本歯科大学病院 新体制スタート

病院長に樋口大輔教授 事務長に笠原哲三先生が就任

松本歯科大学病院は4月1日の人事で、新病院長に歯科補綴学講座の樋口大輔教授を、新事務長に本学4期生で開業歯科医師の笠原哲三先生を据え、新体制で2023年度のスタートを切った。

樋口病院長は昭和大学歯学部を卒業し、同大歯科補綴学教室講師、同大学インプラントセンター副センター長などを務め、2020年9月に本学歯科補綴学講座教授に就任した。病院長就任は4月1日付で、口腔インプラント



樋口病院長(左)と笠原事務長

センターのセンター長も兼ねる。樋口病院長は、「長野県は長寿県となったが、次の目標は、寝たきりにならない、自分で食えることができないなど、健康長寿を目指すこと。歯科検診や人間ドックによるさまざまな検査に基づいて病気を早期発見し、治療することが重要」と話す。そのためには歯科だけでなく内科、耳鼻いんこう科、整形外科、皮膚科も有する松本歯科大学病院の強みを生かし、口腔内の健康状態が全身の健康状態に大きく影響すること

をこれまで以上に強調し、地域の健康寿命延伸のために最高の医療を提供していく考えだ。

新体制の下では、県歯科医師会や地域の歯科医師会、開業歯科医との連携も一段と強固にし、専門家向けの勉強会や講習会、市民向けの講座なども積極的に開催する方針。

客観的評価に基づいたより安心・安全なインプラント治療の推進や、歯科ドックを併用した人間ドックの普及などにも力を入れていくという。「患者様の

らがりラックスした表情で迎えた。参加者全員で乾杯した後、立食形

式の食事を楽しみながら歓談した。アトラクションでは、解剖学講座の金銅英二教授のオルガンに合わせ、第6学年の前田風華さん、第3学年の佐々木はりなさんがフルート演奏を披露。また、校歌合唱隊(第5学年・三野輝執君、第4学年・田口雄大君、野口宝さん、第3学年・佐藤瑠海君、清水崇敏君、新保光生君、野崎 優君、横川勝護君、第2学年・市川大輔君、上條晃生君、木ノ島旺君、小林俊介君)のリードで、全員で校歌を歌い、会場は一体感に包まれた。

三野君と田口君のボーカルデュオによる歌のプレゼントもあり、会を大いに盛り上げた。

立場にたち、一人ひとり異なる状況やニーズに合わせた最高の医療を、責任をもって提供していきたい」と展望を示した。

笠原事務長は本学を卒業後、東京都立府中病院(現・多摩医療センター)口腔外科で研鑽し、1993年に長野市で開業した。以来、30年にわたり地域の歯科医療の充実に力を尽くしてきた。松本歯科大学校友会の学術担当理事も務めている。

笠原事務長は、長年の経験から近年の地域歯科治療を「特に、在宅歯科医療、摂食嚥下障害への対応や、障がいを持った方々への歯科医療の提供など、今までの以上のスキルを要求される場面が増えている」とも述べている。そのような状況下で松本歯科大学病院について「北信地区と、大域のある中信地区を比べると、提供される歯科医療レベルの地域差を感じることもある。県内唯一の歯科大学病院として、全県を視野に入れた活動が期待されている」とし、「病院の持つ高いポテンシャルを存分に発揮できるようにアシストしていきたい」と抱負を語った。松本歯科大学病院では、初診室の臨床教授も兼務する。

診療と運営のトップがより連携を強め、全スタッフと力を合わせて、地域の人たちに一層信頼され、愛される病院づくりを目指していく。

ガーシー除名に思う。

日本は本当に貧しくなったのか

内閣官房参事
松本歯科大学常務理事
特命教授 飯島勲

今月号は『プレジデント』5月5日号「リーダーの掟 飯島勲」より、心の余裕がない日本人に対し、未来に目を向けた投票の重要性を説く記事を紹介します。

岸田首相が歴史的なウクライナ訪問を実現した。「外交の岸田」がさらなる進歩を遂げたことは、とても素晴らしいと思う。

岸田内閣は内政面においても、「異次元の少子化対策」に着手している。

一般的に時の首相は、自分の内閣で成果が出る政策を優先する。20年先に結果が出るような公約を掲げてもメリットがないからだ。しかし、日本が直面している極端な少子高齢化は、国の存続の危機につながる課題である。このまま人口減が進むと、住民税、固定資産税に依存する地方自治体が次々に消滅していく。だから、今のうちに出生率を高めなければならない。岸田内閣は、この難しい構造問題に取り組む覚悟を決めたのである。しかし、内閣がどんなに覚悟

を決めて頑張っても、それを審議する国会の質が低下しているのが気になる。

NHK党（現・政治家女子48党）に所属していたガーシー参院議員は、昨年7月の参院選での当選後、外国に滞在したまま一度も登院しないで除名処分となった。国会議員の除名処分は戦後3例目で、欠席を理由とした除名は初めてだというのが、全く恥づかしい。

この事態は一体誰の責任なのか。まず、ガーシー容疑者自身が国会議員にふさわしくない人物であったことは間違いない。近年、多様性の尊重とか、ジェンダー平等とかで、国会議員の男女比を均等にすべきだ、などを議論があるが、誤解を恐れずにいえば、議員の性別など、私はどうでもよい。議員

に必要なのは「政治家として何ができるか」という能力ひとつだけだ。国会議員を目指すなら、「日本という国をどうしたいのか」という目標を持つべきだ。理想とする未来を語れない人物を国会議員にしてよいのだろうか。

そんな人物を公認候補としてしまう政党も問題だ。国民をバカにしているのかと思う。本当に無責任だ。

そして何より、泡沫レベルの候補者に議席を与えてしまった有権者の責任が一番大きいと考えている。有権者がいい加減に選ぶから、政治家の質が悪くなるのである。有権者は自分が投ずる一票の重みをもっと自覚すべきである。

防衛費の財源としての増税が報じられたときの反応もそうだが、日本人は自分たちの国の未来をどう考えているのか。防衛費の増額が必要という点では多数が賛成なのに、財源としての増税には反対の声があが

2年生有志がサポート隊 新生のキャンパスイン入寮を手伝う

第2学年の有志12人が新生サポート隊を結成した。4月1

日（土）と2日（日）の2日間

にわたって、新生の学生寮「キャンパスイン」入居におけるサポートを行い、荷物の搬入の手伝いや施設の説明、キャンパスライフへのアドバイスなどを行った。

隊長を務めた小林俊介君が活動を報告する。

新生生のキャンパスイン入居におけるサポート隊として、2年生の有志12人で引越越しの荷物搬入などのお手伝いをさせていただきました。

3月半ばより新型コロナウィルスの感染予防対策が緩和され

に、今度も励んでいきたいと思

います。

たため、今回から入居者とそのご家族への検温を取りやめ、マスクと手指消毒も個人の判断で行っていただくという形を取らせていただきました。

私たちサポート隊は、到着された新生生ならびにご家族の車の誘導や、荷物の荷下ろし、搬入をお手伝いし、各部屋の設備とゴミステーションなどの説明を行いました。また、キャンパスインでの過ごし方や学習方法などについてのアドバイスもさせていただきます。

そして我々サポート隊の活動に対し、新生生や保護者の方々より温かいお言葉やたくさん

の場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この度、新生サポート隊のリーダーに任命していただき、準備をする中で、昨年の自分も入寮する際に先輩方にお手伝いいただいたことを思い出しました。

私たちが入学したときを振り返ると、優しく丁寧に教えてくださった先輩方のおかげで、安心して大学生活としての新生活を始めることができました。

その時の経験と同じような経験を、後輩の学生たちにも感じてほしいという思いを胸に、今

差し入れをいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

依頼を快く引き受けてくれた同級生、ご指導をはじめとするたくさんの方のご協力により、大変貴重な経験をさせていただきました。

この経験を胸に、今後とも励んでいきたいと思

います。

回取り組ませていただきました。

この経験を胸に、今後とも励んでいきたいと思

います。



ガーシー議員の除名を採決する参院本会議

などほとんど存在していない。隣国の北朝鮮が頻りに弾道ミサイルを発射しているというのに、国会で議論が盛り上がったという話を聞いたことがない。「増税」に対する反発があるのは、多くの国民が経済的に厳しい状況に置かれているからだという。少子化の原因とされる若者が結婚できないこと、子どもを産み育てる環境が厳しいことも経済的な理由からだとはいわれる。

私も、第二次大戦後の日本が貧しかった時代に子供時代を過ごした人間である。当時は4、5人兄弟は当たり前だったから、やはり、貧しさと少子化を結びつけるのは難しい。

私の家は、貧乏で買えないものは多かったが、周囲の目はあまり気にならなかった。小学生のころから、納豆売りや新聞配達をやって生活の足にした。当時の日本育英会の特別貸与制度を利用して、夜間の高校・大学に通った。今ではなくなった特別貸与は、一般の奨学金よりも返済額が少なく済むが、単位が足りないという消されてしま

うので、勉強も頑張った。

自分が貧しかったころと現代を照らし合わせてみると、最近の日本人の感覚は、「金銭的な余裕がない」というよりは、「未来に目を向ける心の余裕がない」と感じる。今のことだけで一杯になっているから、よりよい未来をつくるために投票へ行ったり、核シェルターにお金を出そうという気持ちにならないのだろうかと思う。

私は政治家から一番遠い家庭環境で育った。政治家にはならなかったが、政治の世界に入り、政治の助けが必要な人に届く手伝いがしたいと思って、今日まで生きてきた。

国政選挙でも50%台という投票率は、日本の全有権者のほぼ半数がその大切な権利を放棄しているということである。政治家が悪いというなら、選んだ有権者にも責任があるし、そんな政治家を通さないためにも投票に行くべきだと思う。

SNSで不満をつぶやく時間があるのであれば、その時間を一部でいいから理想の未来を考える時間にしてほしい。そして、その未来と一致した候補者を選び、投票へ行つてほしい。それはきつと、あしたの生活の改善につながるはずである。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授 笠原浩

笠原浩

1960年代のわが国に「ムシ歯の洪水」が襲いかかって来た。6月4日（ムシ歯の語呂合わせ）に因んだ口腔衛生週間（現在は「歯と口の健康週間」）にムシ歯ゼロの子どもを表彰したくても、容易には見つからない状況となっていたのである。

ところが、それに対応すべき歯科医療機関はと言えば、当時は絶望的なほどに不十分であった。数量的に見ただけでも、60年の全国の歯科医師はわずかに3万1千人、人口10万に対して35人足らず。日本国民のムシ歯が8億本と推計された時代なのだから、絶対的な不足と言わざるを得ない。

どこの歯科医院でも患者が待合室に溢れている状況だった。住宅団地の建設などで、人口が急増している大都市近郊などでは、まだ暗いうちから歯科医師の診察を受けるための行列ができるのが当たり前風景となっていました。

予約受付制に切り替えても、今度は予約のための行列ができるといふ始末だった。なかには別料金で「特急券」を売り出した歯科医までいて、新聞ネタになった。

長時間待つ、ようやく診療の順番になっても、短時間のお粗末？な手当てだけで「ハイ、またね」で済まされるといった苦情も、しばしば新聞の投書欄等に現れた。

これは歯科医師にも少しは同情してほしいところで、連日百数十人、ときには2百人を超えるような患者さんを診療しな

ればならないとなると、10時間働いても1人当たりでは3分しか掛けられないのである。実は、筆者もかつての病院勤務で、こうしたさまざまな診療を数か月続けて体調を崩したことがある。だからと言っても「手抜き治療」は論外だが……。

膨大な歯科医療需要に対する供給の不十分さを悪用して、ぼろ儲けをした歯科医師も残念ながら少なくはなかった。「ウチは保険は扱いません」と、高価な自費診療だけにすれば、お金持ちしか受診しなくなる。金属冠1本で10万円、入れ歯上下で百万円と言った高額料金が横行していた。「待たされる。お粗末治療、高い」、歯科治療への不満は大きな社会問題となっていたのである。

ここで、歯科医師不足がなぜ生じたかを考えておきたい。

第二次世界大戦の敗戦後に乗り込んで来たアメリカ占領軍は、日本では歯科医学・医療が軽視されていたことに啞然として、歯科医師養成を6年制の大学とすべきことを命じた。それまでの歯科医学専門学校が教育内容や設備などを充実させて、大学への昇格を果たしたことは喜ばしい。しかし、きびしい昇格条件をクリアできなかったいくつかの専門学校は、そのまま廃校になった。

1960年の時点での歯科大学は、東京医科大学歯学部、東京歯科大学、日本歯科大学、日本大学歯学部、大阪大学歯学部（52年新設）の7校で、入学定員数は合計で740名にすぎない。

この時代の歯科医療に生じた、需給の極端なアンバランスの要因が、十分な数の歯科医師養成を怠ってきた国の政策的な不備にあったことは明らかだ。

60年前の歯科医療(4)

予約受付制に切り替えても、今度は予約のための行列ができるといふ始末だった。なかには別料金で「特急券」を売り出した歯科医までいて、新聞ネタになった。

長時間待つ、ようやく診療の順番になっても、短時間のお粗末？な手当てだけで「ハイ、またね」で済まされるといった苦情も、しばしば新聞の投書欄等に現れた。

これは歯科医師にも少しは同情してほしいところで、連日百数十人、ときには2百人を超えるような患者さんを診療しな

ればならないとなると、10時間働いても1人当たりでは3分しか掛けられないのである。実は、筆者もかつての病院勤務で、こうしたさまざまな診療を数か月続けて体調を崩したことがある。だからと言っても「手抜き治療」は論外だが……。

膨大な歯科医療需要に対する供給の不十分さを悪用して、ぼろ儲けをした歯科医師も残念ながら少なくはなかった。「ウチは保険は扱いません」と、高価な自費診療だけにすれば、お金持ちしか受診しなくなる。金属冠1本で10万円、入れ歯上下で百万円と言った高額料金が横行していた。「待たされる。お粗末治療、高い」、歯科治療への不満は大きな社会問題となっていたのである。

ここで、歯科医師不足がなぜ生じたかを考えておきたい。

第二次世界大戦の敗戦後に乗り込んで来たアメリカ占領軍は、日本では歯科医学・医療が軽視されていたことに啞然として、歯科医師養成を6年制の大学とすべきことを命じた。それまでの歯科医学専門学校が教育内容や設備などを充実させて、大学への昇格を果たしたことは喜ばしい。しかし、きびしい昇格条件をクリアできなかったいくつかの専門学校は、そのまま廃校になった。

1960年の時点での歯科大学は、東京医科大学歯学部、東京歯科大学、日本歯科大学、日本大学歯学部、大阪大学歯学部（52年新設）の7校で、入学定員数は合計で740名にすぎない。

この時代の歯科医療に生じた、需給の極端なアンバランスの要因が、十分な数の歯科医師養成を怠ってきた国の政策的な不備にあったことは明らかだ。



新生生の荷物の搬入を手伝うサポート隊



台湾出身の研修歯科医・蘇文恵さん

日本小児歯科学会 学部学生優秀賞を受賞

蘇さんは台湾からの留学生ではあるが、学業が優秀であり、特に小児歯科学の臨床実習での成績が極めて優秀であったことから受賞となった。表彰された優秀者は、その学業や臨床態度・技能・知識が



受賞を喜ぶ蘇先生

公益社団法人・日本小児歯科学会では、6学年の学生において小児歯科学の学業および臨床成績が優秀であり、小児歯科学へ高い意気込みを持った学部学生対象者に対し「日本小児歯科学会学部学生優秀賞」を贈呈している。2022年度の選考では蘇文恵さんが学生優秀賞として承認された。

蘇さんは台湾からの留学生ではあるが、学業が優秀であり、特に小児歯科学の臨床実習での成績が極めて優秀であったことから受賞となった。表彰された優秀者は、その学業や臨床態度・技能・知識が

周囲に認められることとなり、さらにこの日本小児歯科学会学部学生優秀賞が今後の小児歯科学分野の臨床や研究に邁進されることも望まれている。蘇文恵さんは4月から本学での臨床研修を開始しており、「学生優秀賞の受賞を励みにして研修を頑張ります」と話している。今後もさらなる活躍が期待される。

歯学部上級生による「新入生歓迎夕食会(ウエルカムディナー)」が4月7日(金)夜、学生食堂で開かれた。学生による実行委員会が準備し、全員で特別メニューの夕食を味わいながら歓談、ビンゴゲームなどで盛り上がり交流した。



食事をしながら歓談する新入生たち

新入生同士であらためて自己紹介をし合ったり、実行委員会メンバーに、授業の内容や効率のよい勉強の仕方、興味を持っているクラブの活動の様子を質問する新入生もいて、それぞれが、生活への不安と期待を交錯させながら充実したひとときを過ごしていた。

ビンゴゲームの景品は、木ノ島実行委員長によると「新入生の心境を考え、自分たちの経験も生かして、新生活や第1学年の授業で必要なものをテーマに厳選した」という。新入生たちは「ビン

上級生や同級生と語り親睦深める 新入生歓迎夕食会

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも



特別寄稿 45期生 黄晟帆

韓国の歯科医師国家試験に 合格して思うこと

私は2022年2月に松本歯科大学を卒業し、同年3月に日本の第115回歯科医師国家試験に合格。その1年後の23年2月に韓国の歯科医師国家試験に勤務しています。韓国における歯科医師国家試験までの過程を説明します。

韓国における歯科医師国家試験までの過程を説明します。22年7月 予備試験(筆記試験) 22年7月 予備試験(実技試験) 22年9月 国家試験の実技1 22年11月 国家試験の実技2 23年1月 国家試験の筆記試験 23年2月 国家試験合格発表



韓国の国家試験に合格した黄先生

一つ僕が韓国でたくさん練習した項目は、マネキンを用いて歯を削ることでした。韓国の試験ではちゃんと教科書通りに歯を削らないといけない上に、仕

上級生や同級生と語り親睦深める。新入生歓迎夕食会。キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

私が2022年2月に松本歯科大学を卒業し、同年3月に日本の第115回歯科医師国家試験に合格。その1年後の23年2月に韓国の歯科医師国家試験に勤務しています。韓国における歯科医師国家試験までの過程を説明します。

韓国における歯科医師国家試験までの過程を説明します。22年7月 予備試験(筆記試験) 22年7月 予備試験(実技試験) 22年9月 国家試験の実技1 22年11月 国家試験の実技2 23年1月 国家試験の筆記試験 23年2月 国家試験合格発表

一つ僕が韓国でたくさん練習した項目は、マネキンを用いて歯を削ることでした。韓国の試験ではちゃんと教科書通りに歯を削らないといけない上に、仕

上級生や同級生と語り親睦深める。新入生歓迎夕食会。キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも

キャンパス内にはソメイヨシノをはじめとするさまざまな種類の桜がおよそ1000本あり、春には1カ月にもわたりさまざまな種類の桜の「開花リレー」が続いた。今年には桜の開花が例年よりも



満開のソメイヨシノの下を歩く新入生

例年より1週間早く さくら満開 学生や地域の人の目を楽します

「おはなしカフェ」6月21日 梶川診療所で 梶島弘之教授が老化対策について講演

参加者にお茶やコーヒーを楽しんでもらいながら、本学教授が健康づくりの話を企画する「おはなしカフェ」が6月21日(水)午後1時〜2時、塩尻市木曾平沢の梶川診療所で開かれた。本学の地域連携歯科学講座の梶島弘之教授が講師となり、「食べることで、飲み込むこと、老化対策」をテーマに話し、参加者の質問にも応じた。

部活で先輩・友人との絆深める

クラブ説明会を開催

歯学部と衛生学院に入学した学生を対象にしたクラブ説明会が4月6日(木)、図書館学生ホールで開かれた。

部や愛好会などのメンバーが代わる代わる登場し、活動を紹介した。各部活のユニフォームを着て登場する団体が目立ち、弓道部や日本拳法などは実演を披露した。

卒業生とも盛んに交流していることや、先輩が後輩の勉強のサポートをしていることなども強調し、新規加入を呼びかける団

体も多かった。

本学には、体育系の部と愛好会が15、文化系の部と同好会が8、計23団体がある。体育系の団体は、キャンパス内の体育館や温水プール、陸上競技場、野球場、ゴルフ練習場といった充



実した施設を主な拠点とし、熱心に活動している。多くは年一回、全国29の大学歯学部や歯科大学が参加して開かれる全日本歯科学生総合体育大会にも出場している。

電動アシスト付き自転車を 格安で販売

学生の移動の足として、学生寮「キャンパスイン」に入された電動アシスト付き自転車、卒業終了に伴い学生や教職員に格安で販売されてい



パナソニック VIVI/DX



ブリヂストン アルベルトe

人事異動

ともに2022年製で、ハンドル付属の液晶パネルでバッテリー残量などを確認できる。高性能モーターで推進力が効率的に補助され、楽に走行できる。問い合わせは日本スコラ(☎0263・53・4611)へ。

- 〔退職(自己都合)〕 3月31日付
 - 望月 慎恭 歯学部地域連携専攻
 - 三好 弥忠 歯学部歯学専攻
 - 西村 恵子 歯学部歯学専攻
 - 佐故 竜介 歯学部歯学専攻
 - 小池 隆文 歯学部歯学専攻
 - 永井 志保 (法人 総務 係長)
- 〔退職(契約満了)〕 3月31日付
 - 村上 康彦 歯学部地域連携専攻
 - 大崎 麻未 歯学部地域連携専攻
 - 小原 聖徳 (診療助手 補綴科)
 - 研修歯科医28名(氏名・所属は省略)
 - 村澤 恵美 歯学部歯学専攻
 - 山岸 和男 歯学部歯学専攻
 - 渡邊 勇男 歯学部歯学専攻
 - 小澤亜希子 歯学部歯学専攻
- 〔兼務解任〕 3月31日付
 - 矢島 安朝 (事務局長代理業務)
 - 川原 一郎 (事務局長代理業務)
- 〔採用〕 4月1日付
 - 相馬 啓子 (特任教授)
 - 山本 昭夫 (特任教授)
 - 石岡 康明 歯学部歯学専攻
 - 霜野 良介 歯学部歯学専攻
 - 佐藤 工 歯学部歯学専攻
 - 森 ことすけ 歯学部歯学専攻
 - 喜多村洋幸 歯学部歯学専攻
- 〔採用(新規)〕 4月1日付
 - 平井博一郎 歯学部歯学専攻
 - 倉科 勇太 歯学部歯学専攻
 - 田村 瞬一 歯学部歯学専攻
 - 何 治鋒 歯学部歯学専攻
 - 〔採用(更新)〕 4月1日付
 - 水谷 莉紗 歯学部歯学専攻
 - 水谷 隆一 歯学部歯学専攻

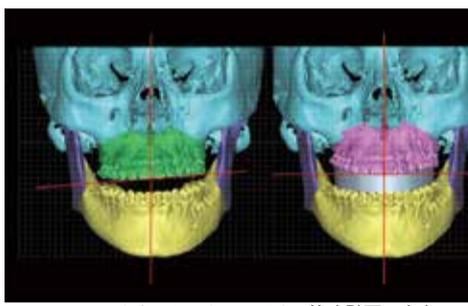
病院だより vol.49

口腔外科における 顎変形症の治療

I 概要

一般に、下顎が前に出ているり、あごが小さいなどの理由で、歯のかみ合わせがずれてしまっているような場合は、「顎変形症」と診断される可能性があります。このような病気の原因にはさまざまなものがありますが、かみ合わせがずれていばうまくかめない、しゃべりづら、食べ物の消化が悪いなどの障害がおきます。歯やかみ合わせの調子が悪くなると美味い食事を楽しむこともできません。

近年の顎矯正治療は機能的な咬合の改善と術後の安定性に加え、顔面非対称や垂直的不調和などの顔面の審美的な問題の改善が求められてきております。このような症例に対しては上下顎骨切り術が有用であり、現在、国内外で広く適用されています。上下顎骨切り術における術後



3Dシミュレーションによる治療計画の立案



CAD/CAMスプリント

の顔貌は、上顎骨の移動位置によって決定されるため、術前の緻密な治療計画の立案が必要となります。そこでわれわれは、術後の咬合関係に基づいた三次元的な手術シミュレーションが可能となる頭蓋顎顔面外科専用のソフトウェアを用いた治療計画の立案を行っております。これにより、3D画像上に計画された移動様式を再現し、術後の対称性の獲得の有無、骨片の干渉部位、移動による咬合の安定性などを三次元的に確認、修正が可能となります。さらに、シミュレーションの結果を実際の手術に正確に再現するために、シミュレーションソフトウェアを用いてCAD/CAMスプリントを製作しています。

- 〔採用(再任)〕 4月1日付
 - 石岡 康明 歯学部歯学専攻
 - 霜野 良介 歯学部歯学専攻
 - 佐藤 工 歯学部歯学専攻
 - 森 ことすけ 歯学部歯学専攻
 - 喜多村洋幸 歯学部歯学専攻
- 〔採用(新規)〕 4月1日付
 - 平井博一郎 歯学部歯学専攻
 - 倉科 勇太 歯学部歯学専攻
 - 田村 瞬一 歯学部歯学専攻
 - 何 治鋒 歯学部歯学専攻
 - 〔採用(更新)〕 4月1日付
 - 水谷 莉紗 歯学部歯学専攻
 - 水谷 隆一 歯学部歯学専攻

Matsumoto Dental University SNS Information

QRコード: LINE, twitter, Instagram, facebook

- 〔昇任・兼務〕 4月1日付
 - 楊 静 (歯学部地域連携専攻)
 - 上原 花帆 (事務局長事務員 派遣員)
 - 滝澤 昌代 (総務 事務員 派遣員)
 - 下條 愛子 (歯学部歯学専攻)
 - 汲田 ちえ (歯学部歯学専攻)
 - 内藤 幸子 (歯学部歯学専攻)
 - 小松ほなみ (歯学部歯学専攻)
 - 〔昇任〕 4月1日付
 - 竹内 由里 (歯学部地域連携専攻)
 - 塩原 則子 (歯学部地域連携専攻)
 - 原田 寿久 (事務局長事務員 派遣員)
 - 花岡 平司 (歯学部歯学専攻)
 - 〔兼務〕 4月1日付
 - 岡藤 浩 (歯学部地域連携専攻)
 - 植野 裕司 (事務局長事務員 派遣員)

5月行事予定

13日(土) 体育祭

16日(火) I期試験(第6学年)

21日(日) 一日体験入学(歯学部)

24日(水) 大学院発表会

受験生の皆さんへ

一日体験入学

① 5月21日(日)

② 6月18日(日)

※5、6月開催分のみ掲載

開催時間 9:30~15:00 (受付 9:00~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験

●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは電話にてお申し込みください。

お問い合わせ

4月1日付

加藤 那奈 (歯学部地域連携専攻)

柳沢みさき (歯学部歯学専攻)

〔本務変更〕 4月1日付

矢ヶ崎 伶央 (法人 主事)

〔配置換え〕 4月1日付

堀内 規子 (歯学部地域連携専攻)

吉江みはる (歯学部歯学専攻)

一ノ瀬 敦博 (歯学部歯学専攻)

中島 靖子 (歯学部歯学専攻)

〔兼務〕 4月1日付

川 茂幸 (健診センター長)

笠原 浩 (歯学部地域連携専攻)

岡藤 範正 (MD セミナー講師)

HOT LINE 0263-54-3210

松本歯科大学 入試広報室

www.mdu.ac.jp